

Juichi WAKISAKA Race Report

2014 AUTOBACS SUPER GT Round 4 -SUGO GT 300KM RACE -

◆◆ 粘りの走りを見せるも、雨に翻弄された一戦となる ◆◆

No. 19 WedsSport ADVAN RC F					
Drivers	Qualifying	Final			
脇阪 寿一 / 関口 雄飛	15位	12位			



■大会概要

開催日：2014年7月19日-2014年7月20日

サーキット：スポーツランドSUGO（宮城県仙台市、コース全長：3.704km）

レース距離：81周（300.024km）

入場者数：予選日9,000名、決勝日28,000名、合計37,000名

7月19、20日、宮城・スポーツランドSUGOにおいてSUPER GTシリーズ第4戦「SUGO GT 300km RACE」が開催された。初日の19日は朝の公式練習のみが行われ、午後からの予選は折りからの天候不順により予選がキャンセルに。結果、翌20日の朝から改めて予選が行われるという変則的なスケジュールとなった。そんな中、No.19 WedsSport ADVAN RC Fで参戦している脇阪寿一は、コンビを組む関口雄飛選手とともに、予選15番手からの追い上げを誓ったが、決勝レースはいっそう気まぐれな雨がレース展開を搅乱させることに。19号車は粘りの走りに徹して12位でチェック。厳しい戦いを終えている。

真夏の三連戦の初戦として位置づけられるSUGO。このあとは8月に富士、そして鈴鹿1000kmという大舞台が控える。第3戦オートポリスの後、6月末には鈴鹿で公式テストが行われており、ここSUGOに向けての準備が緻密に行われた。その一方でタイヤテストも行われ、「晴れれば暑くなる」というSUGOならではのコンディションに対処できるようなタイヤの開発が進められてきた。

ところが、レースウィークの天気予報は「曇りのち雨」。しかも気温は想定以上に低く、25度を超えるかどうか。明らかに難しいコンディションでの戦いにいささかの懸念を抱いてのサーキット入りとなった。

■7月19日(土)

09:00-11:00 公式練習

14:15-14:30 ノックアウト予選（Q1）※視界不良により決勝日朝に順延

15:00-15:12 ノックアウト予選（Q2）※視界不良により決勝日朝に順延

【公式練習】 15番手 / 1'23.445

レースウィークの天候が危ぶまれている仙台地方。ただ市内は雨も降っておらず、また午前7時からスタートしたサーキットでのオープンピットも薄曇りながら傘を必要とする事はなかった。しかしながら、その後のサポートレースを前にポツポツと雨が降り始め、コースはウェット宣言が出される。そして迎えた公式練習。午前9時からスタートが切られると、コースではワイパーを稼動して走行する車両が大半を占めた。

そんな中、まずNo.19 WedsSport ADVAN RC Fのステアリングを関口雄飛選手が握ってドライブを開始。途中、複数回の赤旗中断があるなど、落ち着かないコンディションとなったが、その中でも今後に向けてしっかりとデータを収集すべく、精力的に周回を重ねていった。

脇阪がドライブを開始したのは、最初の赤旗再開後。路面は濡れているものの、雨量はほとんどない状態だったため、装着していたレインタイヤではパフォーマンスを引き出すことができず、タイムアップを果たすことができなかつたが、ヘビーウェットとなったGT500専用走行の時間帯には他の車両のペースをはるかに上回る走りを見せ、雨量が多いコンディションではアドバンテージ



があるという感触をつかんだ。公式練習全体としては、合計 3 度にわたる赤旗中断があり、文字通り水を差されるセッションとなった。No.19 WedsSport ADVAN RC F はこのセッションで 15 番手となる 1 分 23 秒 445 のタイムをマークしている。



■ 7月20日(日)

09:30-09:55 公式予選

14:00- 決勝 (81周)

【公式予選】 15番手 / 1'23.725

土曜日、午後 2 時から開始予定だった公式予選。開始直前に雨は上がったものの霧が濃くなり、視界確保が難しいという理由で、予選開始を延期するというアナウンスが入る。その後も天候回復を待ちながら開始時間を遅延していたが、最終的に土曜日中のセッションは見送り、日曜日朝のフリー走行に代えて予選を行うことを決定。一方、サーキットでは悪天候ながら現地まで出向いてくれたファンへお詫びとお礼を兼ねて、急遽ピットウォークが実施されることになった。

日曜日に順延された予選は、午前 9 時 40 分から GT500 のタイムアタックがスタート。通常、2 名のドライバーのうちまず 1 名が Q1 にアタックし、上位 8 番手までのタイムを刻んだ車両が Q2 に進出（9 番手以下はその順位で決勝グリッドが確定）、Q2 ではもう 1 名のドライバーが決勝グリッドをかけてアタックを行う「ノックアウト方式」が採用されているが、今回は変則的に各チームで各 1 名のドライバーがアタックするルールにそって行われることに。No.19 WedsSport ADVAN RC F では、前日の練習でも多くステアリングを握った関口選手に渾身の一発を託した。

しかし、チームスタッフの気持ちとは裏腹に、コースコンディションはライトレインの状態。正直、チームにとってトータルパッケージを考えるとあまり有利ではないコンディションだ。結局雨量を味方につけることはかなわず、アタックを終了。関口選手は 14 番手のタイムを刻んだが、ピットイン時にピットロード入口の白線を踏んでしまったことによりベストタイム抹消のペナルティを課され、結果、決勝は 15 番手から追い上げを見せることになった。

予選セッションを終えた脇阪。「今回の予選コンディションは、我々に合わないものでした」とひと言。「雨量が多ければもっといいパフォーマンスをお見せできたのでしょうが、一番得意とするコンディションでのアタックとなってしまいました」と悔しさを滲ませつつ、「レースというのはコンディションに対して幅広くポテンシャルを上げて行く必要があります。チーム・クルマ・ドライバー・タイヤ…これらすべての力を上げていかなければいけないので、今後の課題として真摯に受け止めたい。レースでは色々な要素が絡み合うのでしっかり戦い抜きたいと思います」と健闘を誓った。



【決勝】 12位 / NO POINT (シリーズポイント：7ポイント、シリーズランキング：16位)

朝の予選が終ると上空の雨はすっかり上がり、路面も回復の兆しを見せる。土曜日からレインタイヤでのセッティングを慌ただしく進めてきたにも関わらず、決勝レースを前にダミーグリッド上に整列した全車両の足下にはスリックタイヤが装着されるほど。まったく先の読めない気まぐれな天気こそが、菅生に棲むと言われる魔物なのか否か…。いずれにせよ、緊張感あふれる中の決勝レースが始まろうとしていた。

スリックタイヤでダミーグリッドを離れたのは関口選手。フォーメーションラップがスタートし、さらに隊列を整えるためにエクストラフォーメーションラップが2周追加された。だが、この間に雨がぽつりぽつりと落ちはじめ、足下が不安定な状態に。No.19 WedsSport ADVAN RC Fにとって本降りの雨となれば願ってもないチャンス到来となるだけに、レース開始と同時にピットイン、レインタイヤを装着した。

だがこのときの雨は気まぐれで、ほどなくして止んでしまう。当然、十分な水も路面に残っておらず、これでは勝負にならないと判断したチームは再びピットインを指示、No.19 WedsSport ADVAN RC Fには再びスリックタイヤが装着された。この開始直後のストラテジー選択によってトップとの差が大きく開くこととなり、ペースは決して悪くはないものの、チームとして上位進出の可能性が減ってしまう。

ルーティンピットワークはレース52周を終えたとき。ライバルたちもこれより若干早めにピットインし、いよいよ戦いが終盤へと向っていく。12番手からの追い上げを開始した脇阪だが、なんと、この直後から再び雨がSUGOの上空から落ちてくる。結果、ミスト状の雨が風を伴って降り続き、スタンドの観客が傘を広げたり、カッパを着用したりと明らかに周りの景色が一瞬にして変化することとなった。

この状況を受け、チームでは敢えてリスクを避ける意味でもピットインを実施。レインタイヤへ交換し、手堅く周回を重ねていく。一方でライバルたちはその後も不安定なコンディションを受けてコースアウトするなど、ひやりとする場面が幾度となく見られたが、No.19 WedsSport ADVAN RC Fは安定した走りを続けて12位完走。決して満足する結果ではなかったとはいえ、強くなるために必要不可欠なことは明確になったはず。夏場の過酷な戦いに向け、また次なる課題克服を目指すことになる。



慌ただしくも無事に完走を果たした脇阪。「このレースウィークは我々にとってうまく歯車がかみ合わない週末でしたね。めまぐるしく変わる天候にチームとしては常に攻めの姿勢で対応しましたが…、結果を残せず歯がゆい気持ちでいっぱいです。ただ、チームとしての戦闘力は着実に上がってきますので、今後はさらにその幅を広げ、ポテンシャルアップすることが必要です」とタフな戦いを振り返った。一方で、着実にステップアップするため、富士に向けての入念な準備を進める所とし、シーズン後半戦でいい流れをつかみたいと意気込みを見せた。

次戦は、8月9日(土)・10(日)に富士スピードウェイ(静岡県御殿場市)で開催される。

【Photo Gallery】



